

## 2019 年度「一般社団法人日本木材学会中国・四国支部地域功労賞」

### 【受賞者氏名】

中山 茂生（なかやま しげお）氏



### 【生年月日】

昭和 38 年 4 月 20 日

### 【最終学歴】

昭和 61 年 3 月 島根大学農学部林学科 卒業

### 【所属機関】

島根県農林水産部東部農林振興センター出雲事務所

### 【受賞業績題目】

島根県産材の強度評価と乾燥技術の開発及びその現場定着

### 【受賞理由】

中山氏は、1986 年 4 月に島根県に採用以降、約 30 年間の長きに渡り木材加工・利用に関する試験研究業務、林業普及業務に従事し、島根県における木材の試験研究及び製材工場の加工技術の礎を築き、今なおさらなる発展に尽力している。

試験研究業務では、1991 年「針葉樹構造用製材の JAS」施行に伴い、いち早く島根県産スギ造林木の強度性能評価に取り組み、得られた研究成果は貴重なデータとして今日に至るまで林業普及や建築設計等の各分野で活用されている。さらに、「製材品の強度性能データベース（森林総研）」や木材強度・木質構造研究会（木材学会）でも活用されている。また、2000 年以降、構造用製材の人工乾燥の必要性が高まる中、燻煙乾燥等の新しい乾燥技術の開発に取り組み、近年では構造材の内部割れの問題について、その評価技術の開発を全国 13 の公設試験研究機関と共同で、研究の中心的役割を担い、これを推進した。

また、林業普及業務に従事した経験に基づき、島根県内の各製材工場を巡回指導しながら年間 100 件程度の技術相談に対応および構造材の非破壊による強度評価や製材工場個別の乾燥技術の構築に尽力し、それらの技術は現場に定着し今なお活用されている。

以上の点に鑑み、中山氏を 2019 年度日本木材学会中国・四国支部地域功労賞に値するものと評価した。